| 学校番号 | 1206 |
|---|---|

# 令和８年度　総合科

| 教科 | 学総合 | 科目 | (学)産業社会と人間 | 単位数 | ３単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | 自校作成教材 | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

産業社会における自己の在り方生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、主体的な各教科･科目の選択に資するよう体験的な学習や調査･研究を通して、社会生活や職業生活に必要な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観等の育成等を行うための科目として設置しています

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーション能力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 進路を選択するために必要な基本的な知識の習得や能力と態度が身についている。 | 自己の在り方生き方について考えることができ、社会生活や職業生活に必要なコミュニケーション能力が身についている。 | 生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を身につけ、自己の在り方の認識と豊かな社会を築くことに寄与する意欲や態度を養う。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 4月～7月 | 自分を知る | オリエンテーション<br>「産業社会と人間」について<br>自分史作成<br>コミュニケーションについて | a:テーマについて理解し、課題に取り組むことができる。<br>b:グループでの作業に積極的に関わり、自分の意思を伝えることができる。<br>c:テーマに対し、積極的に取り組もうとしている。 | 課題提出 | グループ作業 | 授業態度 |
| | 自分の履修計画 | 系列のガイダンス<br>科目選択ガイダンス<br><br>これらを元に自分の履修計画を作成する | a:テーマについて理解し、課題に取り組むことができる。<br>b:グループでの作業に積極的に関わり、自分の意思を伝えることができる。<br>c:テーマに対し、積極的に取り組もうとしている。 | 課題提出 | グループ作業 | 授業態度 |
| 8月～12月 | 進路・職業について | 講演<br>「様々な職業について」<br>「様々な進路先ついて」<br>「仕事人の話を聞く」<br>体験<br>「職業別体験」<br>資格と職業について | a:テーマについて理解し、課題に取り組むことができる。<br>b:グループでの作業に積極的に関わり、自分の意思を伝えることができる。<br>c:テーマに対し、積極的に取り組もうとしている。 | 課題提出 | グループ作業 | 授業態度 |
| | キャリアデザイン | 「キャリア」の意味を考え、<br>自分のキャリアデザインを作成する。<br>自分の人生の設計図を考える | a:テーマについて理解し、課題に取り組むことができる。<br>b:グループでの作業に積極的に関わり、自分の意思を伝えることができる。<br>c:テーマに対し、積極的に取り組もうとしている。 | 課題提出 | グループ作業 | 授業態度 |
| 1月～3月 | 発表会 | 「産社」で学んだことをグループで発表する。 | a:テーマについて理解し、課題に取り組むことができる。<br>b:グループでの作業に積極的に関わり、自分の意思を伝えることができる。<br>c:テーマに対し、積極的に取り組もうとしている。 | 課題提出 | グループ作業 | 授業態度 |

※　3単位中の1単位分は、「朝学（10分×5)」による。「朝学」…スケジュール帳を活用した自己管理能力を養う

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度